

シンポジウム

「ALPS 処理水の海洋放出と水産物輸出を巡る現状と課題」



主催：（一財）東京水産振興会

共催：（公財）水産物安定供給推進機構、全国水産加工業協同組合連合会、

（公社）日本水産資源保護協会

（一財）東京水産振興会 HP

日時：2025 年 11 月 25 日（火）13：30～16：00

会場：豊海センタービル 2 階会議室（東京都中央区豊海町 5-1）

開催形式：対面＋オンライン（Zoom）

参加費：無料

<プログラム>

1. 開会挨拶 渥美 雅也（（一財）東京水産振興会 会長）

2. 講演（仮題） 司会・長谷 成人（（一財）東京水産振興会 理事）

（1）ALPS 処理水の海洋放出が水産業に及ぼした経済的インパクトおよび本シンポジウムのねらいについて

濱田 武士 氏（北海学園大学経済学部 教授）

（2）水産施策によるセーフティネットと ALPS 処理水の海洋放出

坂井 眞樹 氏（（公財）水産物安定供給推進機構 参与）

（3）東京電力に対する水産加工業者等の損害賠償請求の動向と課題

加藤 聡一郎 氏（つかさ綜合法律事務所 パートナー弁護士）

3. 意見交換

<開催趣旨>

東京電力福島第一原子力発電所の ALPS 処理水の海洋放出を受け、中国をはじめ複数の国・地域が日本産水産物の輸入規制を実施してきました。その結果、日本の水産業界は水産物輸出においてさまざまな損失を被ったため、漁業者や水産加工業者等に対する国の支援事業が実施され、東京電力に対する損害賠償請求の動きも生じています。

そうした状況を踏まえて、本シンポジウムの講師の一人である濱田武士氏は（一財）東京水産振興会のウェブサイト「水産振興 ONLINE」への寄稿「ALPS 処理水の海洋放出が水産業に及ぼした経済的インパクト ―貿易統計を用いて検討する―」（水産振興誌第 647 号※下記参照）において、その経済的な影響を分析されました。

水産物輸出はわが国の水産行政において重要な施策に位置づけられており、今後の輸出促進のために、この間の ALPS 処理水の海洋放出と水産物輸出を巡る現状や課題についてふりかえりを行うことは重要だと考えます。

そこで本シンポジウムでは、上記の濱田武士氏による分析成果を踏まえ、損失を被った漁業者や水産加工業者等に対して国が実施している支援事業および東京電力に対する損害賠償請求の動向に焦点を絞り、それぞれ担当実績のある講師より現在の状況や課題などについて話題提供いただき、ALPS 処理水の海洋放出がわが国の水産業界に与えた影響と、国の支援のあり方に関して広く水産業界に資する情報提供と意見交換を実施することにいたします。

※水産振興誌 647 号「ALPS 処理水の海洋放出が水産業に及ぼした経済的インパクト
―貿易統計を用いて検討する―」



<講師紹介>

濱田 武士 氏

1969 年 3 月生まれ。大阪府出身。北海道大学大学院修了、水産経営技術研究所研究員、東京海洋大学准教授を経て、2016 年 4 月より北海学園大学経済学部教授（現在：北海学園大学開発研究所長兼任）

単著『伝統的和船の経済－地域漁業を支えた「技」と「商」の歴史的考察』（農林統計出版、漁業経済学会奨励賞）、単著『漁業と震災』（みすず書房、漁業経済学会賞、日本協同組合学会賞）、単著『日本漁業の真実（ちくま新書）』（筑摩書房）、共著『福島に農林漁業をとり戻す』（みすず書房、日本協同組合学会賞学術賞（共同研究）、単著『魚と日本人 食と職の経済学（岩波新書）』（岩波書店、水産ジャーナリストの会大賞、第 8 回辻静雄食文化賞）、共著『漁業と国境』（みすず書房）。

坂井 眞樹 氏

東京都国分寺市出身。東京大学理学部及び経済学部卒業。サイモンフレイザー大学経済学修士号取得。昭和 56 年農林水産省入省。在米日本大使館参事官、国際調整課長、消費安全政策課長、水産庁企画課長、漁政課長、官房政策課長、経営局担当審議官、国際部長、統計部長を経て、在ミクロネシア連邦日本国大使兼在マーシャル諸島共和国日本国大使を最後に退官、損保ジャパン日本興亜株式会社顧問を経て令和元年 6 月に（公財）水産物安定供給推進機構専務理事。令和 6 年 6 月より現職。

加藤 聡一郎 氏

一橋大学法学部卒業・立教大学大学院修了。2015 年弁護士登録。ALPS 処理水の海洋放出に伴う禁輸措置の被害を受けた水産加工業者等から相談を受け、東京電力への直接請求や ADR センターへの申立を行うなど、損害賠償請求の支援を行っている。全国漁業協同組合学校講師。季刊刑事弁護新人賞（特別賞）、日本弁護士連合会シルバージャフバ賞受賞。

以上

<参加申込方法>

下記 URL の申込フォームより、お名前と所属、日中連絡の取れる携帯電話番号、メールアドレス、会場参加もしくは zoom での参加のどちらか等を記載の上、11 月 20 日（木）までにお申し込みください。

申込フォーム

<https://forms.gle/XpLEi3nYV9ewDesr6>



受付後、日程が近づきましたら、申込者の皆様に事務局より zoom の URL をご案内いたしますので、当日時間になりましたらお入りください。なお、万が一 zoom URL が届いていない場合や、その他ご不明の点がありましたら、下記の事務局へお問い合わせください。また会場参加を希望される方は当日、会場にお越しください。

お問い合わせ先：info-museum@tkyfish.or.jp

（一財）東京水産振興会 振興部（担当：栗原）

申込期間
2025 年
11 月 20 日
まで

※当シンポジウム開催に関してご連絡する際に必要となりますので、電話番号とメールアドレスは必ずご記入ください。また、メールアドレスは今後、当会のウェブサイト「水産振興 ONLINE」の新刊情報やシンポジウムのご案内等で使用させていただきます。

※当日に撮影した画像は当会 HP や発行物で使用いたします。

<会場までのアクセス>



（一財）東京水産振興会ホームページに
アクセスマップが掲載されています。
<https://www.suisan-shinkou.or.jp/about/access.html>



〒104 - 0055

東京都中央区豊海町 5-1 豊海センタービル 2 階

- JR 東京駅・丸の内南口より
都営バス（都 04・豊海水産埠頭行）
- 東京メトロ東西線／都営地下鉄大江戸線の門前仲町
4 番出口より都営バス（門 33・豊海水産埠頭行）
- 都営地下鉄大江戸線の勝どき駅 A3 出口より徒歩 10 分